

日本一美しい山のトイレ休憩所を目指して

— 石鎚山公衆トイレ維持管理スタッフの合言葉 —

7月初旬活発な前線がかり続け、北海道から九州まで各地で大雨となりました。愛媛県では南予を中心に甚大な被害が出て大勢の犠牲者や被災者が出てしまいました。ご冥福をお祈りし、お見舞いを申し上げます。山仲間も何人も現地に出向き土砂の撤去などの応援に汗を流しています。今年のお山開き期間中、成就社でも1000mmもの雨が降りました。幸いにも石鎚には大きな被害がありませんでした。石鎚公衆トイレ休憩所管理のスタッフも雨の中、信者さんたちの法螺貝と大きな掛け声に励まされながら、毎日トイレ掃除に登りました。

夏休みは外出を躊躇するほどの猛暑に見舞われました。8月7日には松山市で観測史上最高となる37.4℃を記録！厳しい暑さが続きました。

しかし石鎚には例年のように親子連れや家族での登山姿が多くみられました。山に吹く風は涼しく爽やかです。今年も子供たちに沢山の思い出を作ってくれたことでしょう。そして山頂に朝晩冷気が生まれ、しだいに下降していきます。四国の秋も石鎚山から。(渡辺)



石鎚山公衆トイレ休憩所報告 ～維持管理の現場から～



石鎚登山道にはたくさんの花が咲く。夏にはナンゴククガイソウ・オオマルバノテンニンソウ・ミソガワソウ・タカネオトギリ・・・今年もお花畑にはヒヨドリバナに渡り蝶の「アサギマダラ」がフワフワと飛んで群れていた。この蝶は夏の間、石鎚山系など高い山で繁殖し、秋になると南方へ飛んでいく蝶として知られている。

NHKの「小さな旅」で石鎚山が放映されました。

「山の歌 夏 祈りの山高く」です。石鎚に関わる方々が映像に映し出されました。(右の写真は毎年夏休みに娘さんと石鎚登山をする今治市の武田さん)



～ちょっとお願い～

石鎚公衆トイレ休憩所は、利用者の皆様の理解が深まってきて健全に利用されています。「使用済み紙を中に捨てないマナー」も当初に比べ本当に良くなったと感じます。でもうっかり紙を落としてしまった時には、備え付けの紙ハサミで拾い上げてください。



▼避難小屋としての使い方

避難小屋は「天候や病気・ケガなど」の不測の事態から登山者を守る」施設です。

石鎚公衆トイレ休憩所は、休憩所としてだけでなく、緊急時の避難小屋としても使用することができます。

やむを得ず避難小屋として利用する場合は500円/人の協力金をお願いしています。

◆屋外の協力金入れに入れていただきます。

◆室内では火気厳禁です。

※天候の急変なども考慮して、ヘッドランプや防寒やツエルトなどの装備も備えるようにしましょう。この施設には暖房や寝具や電気などはありません。

※おおよそ0.5km歩いた山頂には快適な「石鎚山頂上山荘」があります。(冬期は閉鎖) 宿泊予定の方は事前連絡して利用しましょう。



●二階のロフト部分が避難小屋スペースとなっています。外階段と休憩室奥の階段から上がって利用できます。

石鎚山環境保全応援団 申し込み

石鎚山の自然環境を一緒に守っていただける応援団(団体・個人)を随時募集中(ご寄付頂いた各社の名を休憩所の壁に貼らせていただいています)

石鎚山クリーンアップ協議会事務局

(西条市観光振興課 担当: 柳原/越智)

TEL 0897-52-1690

MAIL kanko@saijo-city.jp

